

2015年のAECの発足を受け、ASEAN地域における物流システムの品質向上・高度化の必要性が高まっている

我が国はこれまでも主にハード面を中心に、国際物流システムの中核となる物流インフラの整備に貢献してきた。今後のASEAN地域における物流システムの品質向上・高度化に向けては、ハードの管理・運用等のソフト面の戦略的な整備が鍵

ASEAN地域における物流システムの品質向上・高度化に向け、現地での実証事業を行い、事業化に向けた課題の特定とその解決を図る

## 〈ミャンマーにおける物流パイロット事業の実施実績〉

### ミャンマー内陸輸送の 貨物鉄道へのモーダルシフト

#### 【背景】

・トラック輸送は脆弱な道路インフラ、都市部の渋滞、過積載の常態化等の課題を抱え、鉄道貨物輸送への期待が高まっている  
・一方、鉄道は施設の老朽化や手作業での荷役による荷痛みなどの課題を抱える

#### 【調査概要】

ミャンマーで初の鉄道コンテナ輸送の導入に向け、鉄道輸送量が最も多いヤンゴン〜マンダレー間のミャンマー国鉄において海上コンテナのトライアル輸送を実施



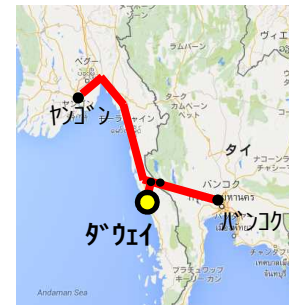
### 南部経済回廊を活用したタイ・ ミャンマー間の越境物流

#### 【背景】

・ミャンマー南東部のダウエイ経済特区の開発により、タイ南部からミャンマー、インド、中東等を睨む産業拠点が形成見込み  
・タイ〜ミャンマー間の物量増加に備え、既存のルート以外の開発が急務

#### 【調査概要】

タイ〜ミャンマー間における新たな物流ルートにおけるトライアル輸送と、両国国境を拠点とした総合物流サービスの実証を実施



### ミャンマーにおける農産物の 物流システム近代化

#### 【背景】

農業分野はミャンマー経済の主要産業だが、その物流手法は未整備であり、農業関連の物流近代化整備は急務

#### 【調査概要】

- ・“選果機”を導入し、果実の内部障害・糖度を検出し品質を安定化
- ・“蒸熱処理装置”による炭そ病予防措置等を行い、高付加価値化を図る
- ・高付加価値化した果実が農産品取扱業者の求める品質であるか確認
- ・“防振パレット”、“折りたたみコンテナ”、“鮮度保持剤”を用い、輸送段階の廃棄率低下、品質保持を図る